



IEEE International Symposium on Intelligent Signal Processing and Communication Systems 2017

NOVEMBER 6-9, 2017, XIAMEN, CHINA

参加報告書

群馬大学大学院・電子情報・数理教育プログラム

小林研究室 修士1年 井田 貴士

参加学会

IEEE International Symposium on Intelligent Signal Processing and Communication Systems 2017

開催地

Wanda Realm Xiamen North Bay Hotel, Xiamen, China

開催期間

2017.11.6 — 2017.11.9

旅程

- 11.6(Mon) 成田空港出国 厦門ホテル着
- 11.7(Tue) 学会 2 日目参加
- 11.8(Wed) 学会 3 日目参加 (発表) & Banquet
- 11.9(Thu) 学会 4 日目参加
- 11.10(Fri) 厦門・島 観光
- 11.11(Sat) 厦門ホテル発 帰国



発表題目

Architecture of High Performance Successive Approximation Time Digitizer

著者

Takashi IDA, Yuki OZAWA, Jiang RICHEN, Shotarou SAKURAI, Seiya TAKIGAMI,
Nobukazu TSUKIJI, Hirotaka ARAI, Ryoji SHIOTA, Haruo KOBAYASHI

学会参加報告

初めての海外ということもあり、実際に中国に行くまでは期待よりも不安のほうが大きかった。しかし結果としては、とても有意義で楽しい国際学会となった。今回、英語での発表ということで、プレゼンテーションの部分は良かったが、質問に対して英語で自身の考えを述べることの難しさを感じ、さらなる努力が必要であると感じた。また学会全体を通してみると情報分野の論文が多く、人工知能などに、各国が力を入れていることが窺えた。

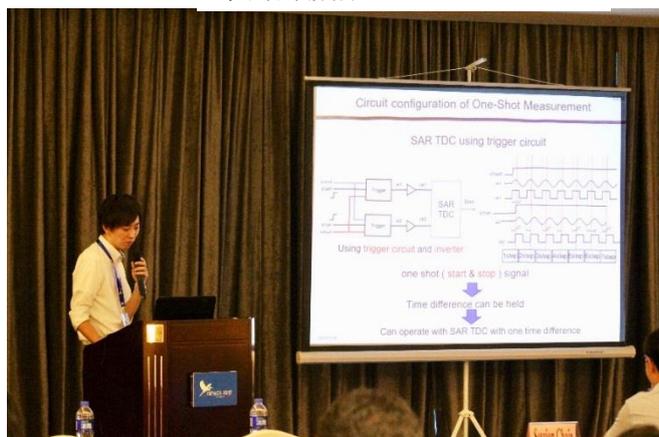
ISPACS2017 編



学会会場前にて



学会が開催されたホテル



発表風景

英語での発表、質問...勉強になりました



中国といえばチャイナドレスということで記念撮影



学会の主催大学の人たち



Banquet 風景

料理だけではなく伝統楽器の披露も



観光編

学会終了後、学会主催の観光や、留学生主導の厦門の観光を行った。中国で一番驚いたのは観光地に行っても英語が通じないことだ。留学生がいなかったら観光はほとんど不可能であったと感じた。また翻訳ソフトなどを用いて中国語を使ってみたが、発音が悪いのかほとんど通じなかった。また個人的な余談としては、観光中に中国の人に話しかけられたが韓国人だと思われていた。



老院子にて

ストーリーは良くわからなかった....が、壮大な世界観！



リゾート地なので暖かい (26°Cくらい)



中国っぽくない街並み ヨーロッパに近いものを感じた



夜景....綺麗....



個人的に一番おいしかった料理



「今夜は家に帰らない」という意味のお酒



観光中に話しかけられたので記念に一枚！



記念撮影

学会を終えて

今回の学会参加において、文化の違う人たちとの交流を行うことが出来たことが一番刺激となった。渡航する前は様々な面で心配事しかなかったが、実際に現地に行ってみると、不安を抱いていたのが無駄だったと思えるくらい、新しいものに触れる楽しさや驚きのある毎日で、自身の世界を広げることが出来た。これからも新しいものには余計な心配をせずに進んでチャレンジしていきたいと感じた。

謝辞

今回、同期全員で国際学会に参加するという大変貴重な機会を与えて頂いた小林先生、また現地での様々な手配を行っていただいた、厦門理工学院の林海軍先生や、東京都市大学の傘先生、小堀先生、学会に参加するにあたっての様々なご支援を頂いた石川さん、滞在中、現地で言語が通じない中、観光をはじめ、お店等でも率先して私たちをサポートしていただいた留学生の方々に深く感謝申し上げます。